

令和5年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
及び地域公共交通計画の評価結果概要（案）

清須市地域公共交通会議 （清須市）

平成18年6月26日設置

令和2年3月23日 清須市地域公共交通計画策定
（計画期間：令和2年4月～令和7年3月）

令和4年5月24日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

令和5年6月30日 令和4年度評価結果送付

■ 清須市の地域特性

- ・ 充実した鉄道網・幹線道路網により周辺都市との移動利便性が高い
- ・ 鉄道・主要道路と庄内川、新川、五条川によって分断され、市街地の道路幅が狭いので、市内の移動利便性が低いという課題を抱えていた

⇒ 「きよす あしがるバス」を鉄道路線のフィーダー系統として運行

- ・ 鉄道駅までの移動手段
- ・ 高齢者や主婦層等の移動制約者の日中の交通手段

■ 清須市地域公共交通計画（令和2年度～令和6年度）

➤ 清須市の交通将来像

誰もが移動しやすいまち清須

➤ 交通将来像の実現に向けた基本方針

- I 既設の鉄道網を生かした
地域公共交通ネットワークの形成
- II 地域公共交通を利用しやすい環境整備の推進
- III 地域公共交通事業推進のための関係者の連携

清須市の交通網



➤ **コミュニティバスのルート・ダイヤ改正（R4.10.1）に伴うバス停新設**

☆新設した新清洲駅北口バス停の利用者数

改正前	改正後
フィール清須店北	新清洲駅北口
年間 1,082人	年間 1,592人

1.5倍



⇒ 改正により便利になったという声も届いており、改正後は利用者数が増加した。

⇒ 全体としてもルート・ダイヤ改正前後で利用者数の伸び率が大きくなっている。

その他の改正点及び各会議の資料・会議録は以下のHPに掲載

https://www.city.kiyosu.aichi.jp/shisei_joho/shisei_sanka/fuzokukikan_kaigi_kokai/kaigi_kekka/3nendo/03-1kokyokotuu.html

➤ **GTFSのオープンデータ化とGoogle連携による乗換ルート検索**

・新ルート・ダイヤに対応したGTFS-JPをオープンデータ化するとともに、Google社へGTFS-RTを提供し、遅延情報を加味した検索を可能とした。

（事業効果）

容易に地図上で遅延を考慮したルート検索やバス停位置の確認ができるようになり、地域公共交通全体の利便性が向上し、利用者数の増加に寄与したと推察する。



検索イメージ▶

■利用促進事業

実施事業	事業の概要	実施効果
コミュニティバスの一泊無料デー 【令和4年10月9日（日）】	祭の開催日に合わせ、コミュニティバスの運賃を1日無料とする	3年ぶりの実施ということもあり、過去最多の利用者数を記録した
コミュニティバスの乗り方教室 【令和4年11月30日（水）】	小学3年生の児童を対象に、市立小学校で乗り方教室を実施	子どもたちに興味を持ってもらい、親子で利用するきっかけづくりとなった
五条川さくらまつりでのPR 【令和5年3月25日（土）】	まつり会場にブースを設置し、ミニゲームコーナーやバス車両展示のほか、バス型キーホルダーの販売、ルート・ダイヤ改正の周知を実施	雨が断続的に降っていたが、主に家族連れの方がミニゲームや車両展示で楽しんでいただき、バスへの関心やルート・ダイヤ改正の認知を高めることができた



3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

○【目標】 あしがるバスを核とした移動利便性の向上（補助事業分）

自己評価実施日：令和5年10月16日（月）
 [令和5年度第2回清須市地域公共交通会議]

■ 収支率（地域公共交通計画策定時の目標収支率を維持するよう設定）

目標値	実績値	達成状況
8.9%	8.7%	未達成

■ 利用者数（過去増加率を元に設定）

ルート	項目	目標値	実績値	前年比	コロナ前比 (R1年度比)	達成状況
全体	年間	97,500人	81,702人	112.5%	101.7%	未達成
	1便あたり	6.2人	5.1人			未達成
オレンジ	年間	18,600人	14,724人	114.1%	100.6%	未達成
	1便あたり	4.7人	3.7人			未達成
グリーン	年間	29,000人	26,464人	106.9%	109.5%	未達成
	1便あたり	7.3人	6.7人			未達成
サクラ	年間	31,300人	25,752人	116.0%	99.0%	未達成
	1便あたり	7.9人	6.5人			未達成
ブルー	年間	18,600人	14,762人	115.5%	95.2%	未達成
	1便あたり	4.7人	3.7人			未達成

<各ルートの考察>

オレンジ	前年比114.1%と大きく回復しており、 <u>鉄道駅や観光施設のバス停の利用者数はコロナ禍前の実績以上の利用がある</u> 。全体としてもコロナ前比が100.6%となり、 利用控えの傾向が解消されていると推察する 。
グリーン	既にコロナ禍前の実績まで回復したルートではあったが、利用者数の回復が伸び悩んでいた <u>商業施設や鉄道駅等の目的地となるバス停も利用増に転じ、完全にコロナ禍前を上回る実績が続いている</u> 。
サクラ	前年度に比べると、 <u>商業施設や新設した鉄道駅のバス停の利用者が大幅に増加し、コロナ禍前の利用者数まで戻りつつある</u> 。コロナ禍により大きな影響を受けていた <u>図書館や美術館、スポーツ複合施設なども徐々に回復してきている</u> 。
ブルー	回復が遅れていたブルールートも、利用者の半数近くを占める <u>清洲駅とヨシツヤの利用者数がほぼコロナ禍前の実績まで回復しており</u> 、前年比115.5%と大きく回復した。



- ・ ルート・ダイヤ改正やコロナ5類引き下げの影響もあり、コロナ禍前の水準まで回復した。
- ・ 長引く外出控えの影響も解消され、今まで伸び悩んでいた鉄道駅等の利用が伸びている。
- ・ 今後は新規利用者獲得に向けて実施事業を検討する必要がある。

○その他の地域公共交通計画の評価指標（補助対象事業分を除く。）

目標	評価指標	目標値	1年目 (R2)	2年目 (R3)	3年目 (R4)	4年目 (R5)
市内観光施設を巡る移動手段の確保	レンタサイクルの利用者数	150人	51人 (下半期のみ)	159人	220人	105人 (8月末時点)
地域公共交通に関する積極的な情報発信	あしがるバス一日無料デーの参加者数	400人程度	新型コロナウイルス感染症の影響により未実施	新型コロナウイルス感染症の影響により未実施	421人	11月11日 (土) 実施予定



- ・その他の評価指標については、直近の実績は概ね達成できている。
- ・現・地域公共交通計画が令和6年度で計画期間満了を迎えるので、検討段階に入る。

4.【Act】 計画目標の達成に向けた今後の取組方針

■ 現状の課題

- ・ コロナ禍による外出控えも徐々に解消され、利用者数もほぼ回復してきている一方で、新規利用者の獲得に向け、潜在的な利用ニーズへのアプローチが出来ていない。
- ・ 来年度、次期地域公共交通計画に向けた検討段階に入るに当たり、現状の交通課題や利用ニーズを把握する必要がある。

■ 対応方針

① あしがるバスのユーザー増加に向けた啓発活動の継続実施

- ・ バスの乗り方が分からない人に向けて、乗り方のチラシを作成し、周知に努める。
- ・ 今後も、まつり等のイベントに合わせた一日無料デーやPRブースの設置など、利用促進に繋がる啓発活動を継続的に実施することで、あしがるバスの利用を喚起し、新規利用者獲得を目指していく。

② 次期地域公共交通計画の策定に向け、市民アンケート調査等を実施

項目	市民アンケート調査	利用者ニーズ調査
目的	市民の移動実態・ニーズの把握 公共交通に対する改善要望等の把握	バスの利用状況・ニーズの把握 バスに対する改善要望等の把握 バス停別乗降者数の計測（OD調査）
対象	20歳以上の市民2,000人 （住民基本台帳から無作為抽出）	あしがるバス利用者 （全ルート全便×3日間程度）
調査方法	郵送配布／郵送回収又はWeb回答	原則、調査員による配布・回収

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	ルート・ダイヤの改正による利便性向上の周知を引き続き行うに際して、主要な行き先を意識した関係者間の連携を進めていかれることを期待する。	市立小学校のバス乗り方教室や観光協会主催の五条川さくらまつりでのPR等、利用促進イベントの中で改正チラシを配布・紹介し、周知を行った。また、各施設・駅等に配布したチラシや新しい時刻表は無くなった連絡を受けた際、追加で配布した。	今後も利用促進事業を継続し、利用喚起に注力するとともに、次期地域公共交通計画に向けて、アンケート調査を実施し、市民の移動実態やバス利用者の利用状況・ニーズを把握する。

※前回：令和5年3月10日

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前々回	<p>コミュニティバスの見直しにあたっては、鉄道とあしがるバスの乗継を考慮して利便性の向上を図る等、利用者の視点からの検討を進められるよう期待する。</p>	<p>令和4年10月のルート・ダイヤの見直しに向けた協議では、駅前ロータリー整備による新たなバス停設置のほか、鉄道利用者の乗継利便性を考慮し、ダイヤ接続に配慮するとともに、帰宅時の利用に便利なダイヤを導入することを決定した。</p>	<p>引き続き今回のルート・ダイヤ改正によって変更になった点を利用促進イベント等を通して周知するとともに、新設したバス停や帰宅便ダイヤの利用状況について調査・分析をする。</p>
	<p>コミュニティバスの利用促進イベントやバスロケーションシステムの利用啓発等、新型コロナウイルスの影響も勘案しながら、積極的に行われるよう期待する。</p>	<p>ルート・ダイヤ改正の啓発と同時にバスロケーションシステムや乗換検索サイトの利用啓発も行い、あしがるバス全体の利用促進を図った。</p>	<p>利用者数の回復に向けて、利用促進イベントを開催するとともに、遅延情報に対応したGoogle乗換検索を可能とし、更なる公共交通の利便性向上を図る。</p>

※前々回：令和4年3月10日

<年間単位の進捗管理・評価スケジュール>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会		①					②					③
行事等			◎ 確保維持改善 計画申請			◎ 確保維持改善 計画認定		☆ 次年度予算要求			◎ 第三者評価委員会	
PDCA	前年度事業評価に 基づく改善、反映 と前年度交通計画 の取組評価	A・P		次年度計画の検討 P				C	モニタリング・ 事業評価の実施			A 課題の共有・ 改善検討
部会	必要に応じて開催											

【協議会の実施状況】

<令和4年度>

- ①第1回協議会 令和4年5月24日 地域公共交通計画の変更案等
- ②第2回協議会 令和4年12月21日 確保維持改善事業の事業評価案等
- ③第3回協議会 令和5年3月20日 次年度の歳入歳出予算案等

<令和5年度>

- ①第1回協議会 令和5年5月29日 地域公共交通計画に係る取組状況の評価案等
- ②第2回協議会 令和5年10月16日 確保維持改善事業の事業評価案等